



洋野角浜太陽光発電所

ふるさとの人・土地・太陽から未来を創る再生可能エネルギー



株式会社サン・エナジー洋野

株式会社サン・エナジー洋野からご挨拶



株式会社サン・エナジー洋野
代表取締役

信田 公男

当発電所は、地元企業を取り込み構成する特別目的会社（SPC）であり、平成24年に10MW規模での太陽光発電事業を創業しました。

本事業の遂行に当たっては、計画当初より洋野町をはじめとする地域の皆様から多大なるご支援とご協力をいただき、これまで「地域の事業」として順調に運営が図られておりますことに心より感謝申し上げます。

昨今の地球環境は、人間活動の活発化に伴い、温室効果ガスが増加し、地球全体の平均気温が上昇する事態となっています。

この気温上昇による地球温暖化は、海面上昇・異常気象の頻発等が発生し、自然生態系や生活環境、農作物等へ大きな影響を及ぼす要因となっており、現在、地球環境を取り巻く喫緊課題として温室効果ガス排出の大幅削減が地球規模で取り組まれているところであります。

化石燃料から再生可能エネルギーへの転換が急務の中、その代替エネルギーの一翼を担っている太陽光発電事業への従事は、地球環境保全への寄与活動と認識の下、会社理念である『地域の事業』への貢献に社員一丸となって取り組んで参ります。

令和5年2月吉日

☀ 発電所概要

運 営 母 体	株式会社 サン・エナジー洋野
事 業 地	岩手県九戸郡洋野町種市第39地割 他
発 電 規 模	10MW(モジュール:11.2MW)
設 備 認 定	平成25年2月1日
変 電 所	22kV／66kV
送 電 線	22kV 5.5km 埋設管路
連 系	東北電力(株) 66kV 種市支線 NO.45に接続

特 色

1

地域の事業

SPCの構成会社は、地元企業を含んだ、地域の事業としての太陽光発電所です。

2

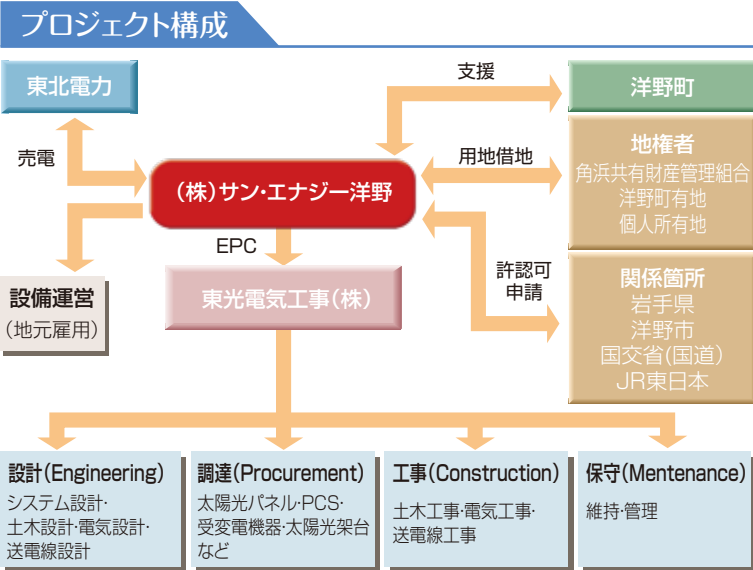
洋野町支援

ふるさと融資を活用し、洋野町から無利息で融資を受けております。

3

地元で保守業務

保守業務は地元の方を中心に行っております。



☀ 株式会社サン・エナジー洋野 概要



(株)サン・エナジー洋野事務所

・設 立:平成24年8月28日

・所在地:岩手県九戸郡洋野町種市第39地割39番地35

・T E L:0194(69)1226

・構成企業

名称／住所	出資比率
東光電気工事(株) 東京都千代田区西神田1-4-5	34.1%
日本紙パルプ商事(株) 東京都中央区勝どき3-12-1	33.5%
種市電工(株) 岩手県九戸郡洋野町種市25-19-2	20.6%
(株)カンキョウ 岩手県九戸郡洋野町種市25-19-2	5.9%
(株)ノブタ興業 岩手県九戸郡洋野町種市37-1-10	5.9%
計	100.0%

☀ あゆみ

R4	R2		R1	H30	H29	H27	H26				H25		H24				H23			
11月	5月	3月	10月	5月	3月	10月	10月	9月	7月	6月	2月	2月	1月	8月	6月	4月		3月	11月	10月
総発電量 1億kWh 達成	総発電量 7千万kWh 達成	年間発電量過去最高値 達成	操業5周年式典祝賀会	総発電量 5千万kWh 達成	総発電量 3千万kWh 達成	一年点検実施	運用開始／竣工式	平内サイト試験調整／工事竣工	角浜サイト運用開始	東北電力連系受電／角浜サイト試験調整	連系変電所完成	再生可能エネルギー発電設備の認定（経済産業省）	起工式／工事開始	㈱サンエナジー洋野を設立 対策事業「採択（太陽光発電協会）	震災復興補助金「平成23年度再生可能エネルギー発電設備等導入促進支援	角浜地区に太陽光発電の可能性を見出し、町へ計画の提案	角浜地区の地権者である、角浜共有財産管理組合に説明	洋野町より、角浜地区の遊休地を新エネルギー等に活用できないか相談を受ける	右記委託事業のため、洋野町を訪問	NEDO「風力等自然エネルギー技術研究開発 洋野風力発電等技術研究 開発洋上ウインドファーム・フイーजीビリティスタディ（FS）」において洋野 町沖の洋上風力FS業務を受託



01 角浜サイト施工前



02 杭基礎架台



04 竣工式(平成26年10月29日)



03 パネル設置

太陽光発電で
安定した電気を
供給できるよう
になりました！



角浜サイト完成



平内サイト完成



角浜サイト

サン・エナジー洋野事務所

平内サイト

22kV送電線

角浜平内完成写真(全景)



連系変電所

2014年10月
洋野角浜太陽光
発電所が運転を
開始しました



発電所の現況



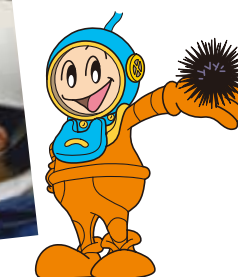
(株)サン・エナジー洋野 社員



除雪作業



巡視点検



長期安定したエネルギー創出を目指して

設備の特徴



東光電気工事(株)
プロジェクトマネージャー
石川 幸一郎

東光電気工事(株)として、“発電所”を建設・運営できる事は非常に光栄な事と捉えています。そして、発電所を持った喜びと共に、責任感も感じております。

本発電所は海に隣接していることもあり、塩害による影響が問題視され、長期運営には手間暇がかかると考えられます。盤類や太陽電池パネルを支持する架台の様な、金属製品には錆が発生しやすく、長期使用する事での電気機器への影響は計り知れません。そのため、発電事業者でありながら施工者でもあり、保守・管理会社でもある東光電気工事(株)としては、保守管理に力を注ぐことで、無事に20年間発電と運営を出来る様にしていく所存であります。

出力が10MWの太陽光発電所は、東北地方でも有数の規模です。建設や保守に関して得たノウハウを十分に生かす事で、不安定な事が懸念材料でありながらも、地球温暖化防止に貢献できる自然エネルギーによる発電を、これからも提供していきたいと考えています。

洋野町内に、太陽光発電所を建設する事に御賛同頂いた、関係者皆様に御礼申し上げます。



種市電工(株)
代表取締役
松橋 武志

洋野角浜太陽光発電所は、東日本大震災の復興支援を目的に東光電気工事(株)が核となって特別目的会社(SPC)を設立し、町と地主・地元企業等との連携により用地の確保や設備工事の施工等がすすめられた事業であります。

現在、洋野町では、同発電所の整備を契機とする11ヶ所(工事中を含む)のメガソーラー施設が整備されており、併せて、海岸部道路の沿線には数十基の小型風力発電機の風車設置が連立する様から『浜風エナジーロード』と命名された新たな観光資源が出現するなど、再生可能エネルギーの活用が震災復興の一方策として取り組まれているところであります。

弊社は、本発電所事業の実施に際し、地元企業として参画する貴重な機会をいただき、施工技術をはじめとする多岐にわたるノウハウを習得することができました。これを糧に同種工事へ積極的に参入したに加え、自社による太陽光発電所の経営に繋がったことは事業参画の賜と感謝の念に堪えないところであります。

これまで、関係各位のご尽力の下に当初計画を上回る操業が無事故・無災害に運営されておりますことに敬意を表すると共に、引き続き、地域密着型での健全運営が展開されますことを期待しております。

監視設備

変電所内設備に監視端末(パソコン)を設置しPCSなどに対し運転/停止制御を行う。また、インターネットにより遠方の事務所・会社で運転状況を監視する。故障発生時は、メールにて発生した故障内容を送信。



保安設備

Webカメラにより、出入口・変電設備・パネル状況を監視する。

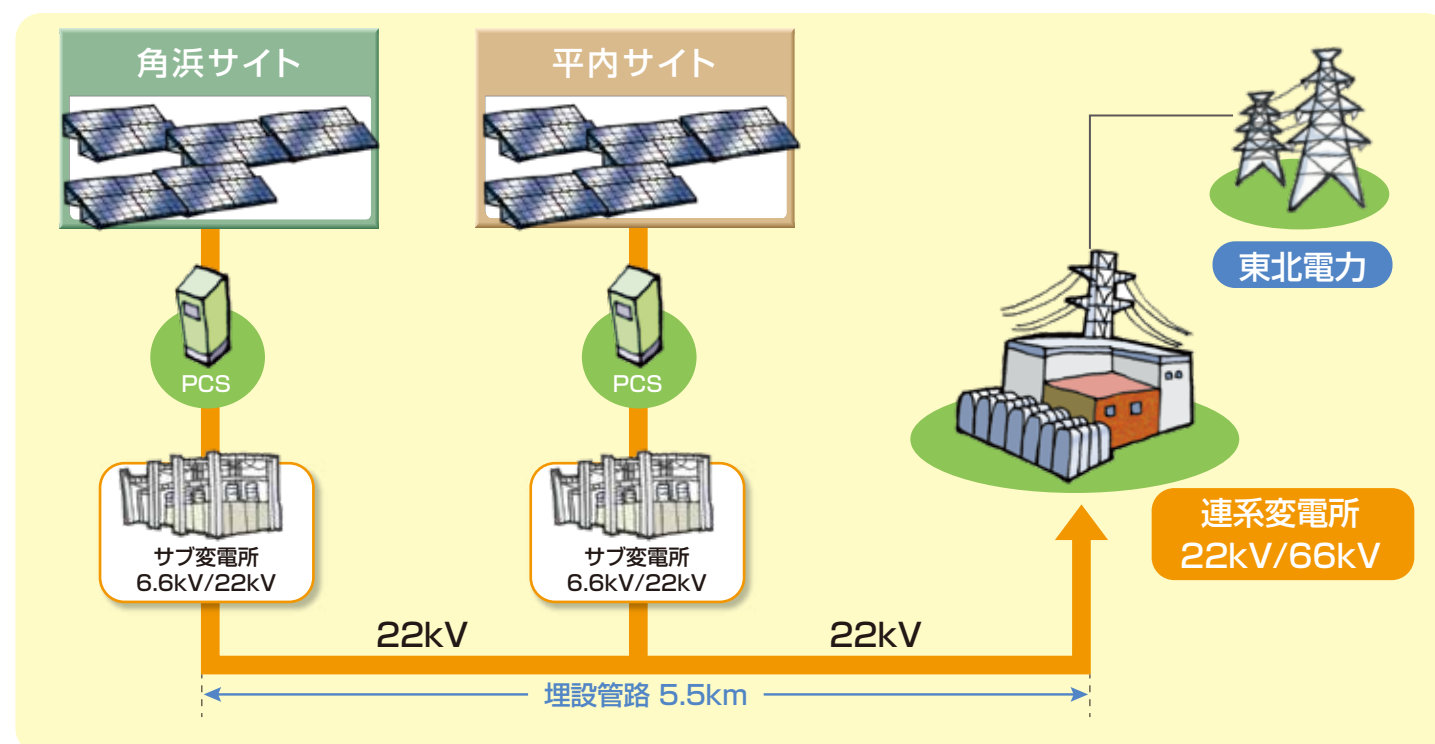


表示板

現在の発電電力や、今までの発電電力量を表示。



システム構成



自然環境に配慮した本発電所の安定運用へ貢献



洋野角浜太陽光発電所
電気主任技術者
松橋 貴弘

学生時代、福島県にて福島第一原子力発電所の事故・放射能汚染への不安を身近に感じ、再生可能エネルギーの発展を強く望んでいたため、(株)サン・エナジー洋野の一員として洋野角浜太陽光発電所の保安管理業務に勤められることに喜びと責任を感じており、また携われることは大変光栄です。

本発電所建設時には多くの皆様のご協力を頂戴しましたが、本発電所の保安管理においても引き続き多くの方々のご支援を頂戴しております。

お陰様で操業開始から無事故・無災害を継続しており、発電実績も発電計画値を超えるものとなっております。太陽光発電所は、自然の恵みである日射を活かした設備ですが、その反面、設備の大半が屋外設置であることから、風水害・雑草害・雪害・塩害等の自然災害の影響を受けやすく、環境要因による設備劣化や発電支障等が懸念されます。

季節ごと、或いは日々変化する自然環境を念頭に置いた上で、保安管理業務並びに、除草・除雪等を含めた発電所敷地整備の環境保全業務等に力を注ぐことで、本発電所の20年間の安定発電・健全運営、ひいては再生可能エネルギーの更なる発展や脱炭素社会の実現への一端に貢献して参りたいと考えております。